SONY

4-174-242-**07** (1)

ネットワークカメラ

設置説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性を充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この設置説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この設置説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SNC-CH180/CH280

IPELA　Exmor　HD

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。
- 安全のための注意事項を守る。
- 故障したり破損したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

この設置説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

指示

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、**火災**や**感電**、**落下**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

火災　感電

設置や配線工事のときに屋内配線や屋内配管を傷つけないよう気をつける

指示
特に壁に穴を開けたり、ケーブルを固定したりするときは充分に気をつけてください。屋内配線や屋内配管の傷は、火災や感電、漏電の原因となります。

指定された接続ケーブルを使う

指示
設置説明書に記載されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

付属のワイヤロープを利用して取りつける

指示
高所での作業では機器の落下により通行人等に重大な危害を与えることがあります。

指定された電源電圧で使用する

指示
指定されたものと異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

設置は専門の工事業者に依頼する

指示
設置については、必ずお買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。
壁や天井など高所への設置は、本機と取り付け金具を含む重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと、落下して、大けがの原因となります。
また、1年に一度は、取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて、点検の間隔を短くしてください。

製品の設置は充分な強度のある場所に取り付ける

指示
強度の不充分な場所に設置すると、落下、転倒などにより、けがの原因となります。

機器や部品の取り付けは正しく行う

指示
機器や部品の取り付け方や、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機や部品が落下して、けがの原因となることがあります。
設置説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

ネジはしっかりと締め付ける

指示
- 取り付ける場所、材質によって適切な取り付けをしてください。
- 取り付けるネジとカメラヘッド固定ネジをしっかり締めてください。

雪が直接積もらないように設置する

指示
積雪の重みにより、実際の重さが増す可能性があります。

人や車を避けた高さへ設置する

指示
低い高さへ設置すると、人員又は車輌とぶつかって、怪我もしくは事故になる恐れがあります。

高所等の強風が予想される場所に設置しない

禁止
- 高所では地上に比べてより強い風が吹きます。
- ビル風等、場所によっては地上でも強風の吹くところがあります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所へは設置しない

禁止
金属の腐食により破損、落下の原因になります。

可燃性ガスの発生する場所へは設置しない

禁止
本機は防爆機器ではありません。
本機の運転により爆発・火災の危険があります。

接続ケーブルを傷つけない

禁止
接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 接続ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- 接続ケーブルに重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 接続ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

不安定な場所に設置しない

禁止
次のような場所に設置すると倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。
- ぐらついた台の上
- 傾いたところ
- 振動や衝撃のかかるところ

また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ケーブルを窓やドアにはさみ込まない

指示
ケーブルが傷つくと、ショートによる火災や感電の原因となります。

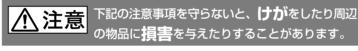
雷が発生する時に設置・メインテナンス・点検しない

禁止
雷が発生する時に作業すると感電もしくは雷撃事故になる恐れがあります。

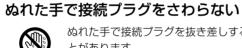
取っ手や足場代りとして使わない

禁止
以下のような使い方をすると、本機又は人員が墜落して、怪我になる恐れがあります。
- 本機を取っ手や足場代りにして、高所へ登る
- 本機に物を掛ける

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えたりすることがあります。

分解や改造をしない

分解禁止
分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご依頼ください。

熱器具の近くには置かない

禁止
変形したり、故障したりするだけでなく、火災の原因となることがあります。

ぬれた手で接続プラグをさわらない

ぬれ手禁止
ぬれた手で接続プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止
水や異物が入ると、火災の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

指定した給電装置を使用する

指示
PoEでの電源供給は、IEEE802.3afに準拠した装置を使用してください。
指定の装置を使用しないと、火災や感電、けがなどの原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

指示
電源を入れたままで電源コードや接続ケーブルを接続すると、感電や故障の原因になることがあります。

移動の際は接続ケーブルを抜く

指示
接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

赤外線LEDを長時間見続けないでください。

禁止
本製品は目には見えませんが赤外線を発光しています。赤外線の熱効果により目を傷つけることがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

保証書とアフターサービス

保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

使用上のご注意

ご使用の前に
- ケーブルだけを持ってカメラを持ち上げないでください。
- ご使用になる前に、結露がある場合には十分な時間をおいてから電源を入れてください。

データ・セキュリティについて
- ネットワークカメラを使用することにより、インターネットを通じて容易にカメラ映像にアクセスすることができます。一方で第三者によりネットワークを通じてモニタリング画像および音声を閲覧、使用等される可能性があります。ネットワークカメラの設置およびご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

- 本製品へのアクセス権限は、ユーザー名およびパスワードを設定することにより行われます。それ以上の本製品による認証作業は行われません。
- ワイヤレスLANをご使用時にはセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティの対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生した場合には弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。また、記録されたデータの損失、修復の責任も負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、ソニーは一切の責任を負いません。
- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機を使用して記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品の使用によりデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

個人情報について
- 本機を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

使用・保管場所について
非常に明るい被写体（照明や太陽など）を長時間にわたって撮影しないでください。また、次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。
- 極端に暑いところや寒いところ（使用温度は－30℃～＋50℃）
- 暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のあるところ
- 湿度、湿気の多い場所
- 高所等の強風が吹く場所
- 塩害や腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所

設置について
- 基板を手で直接さわらないでください。
- 天候（雨など）によってフォーカスが合わない場合は手動で調整してください。

放熱について
動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因になります。

輸送について
- 持ち運ぶときは、必ず電源を切ってから運んでください。
- 輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

寒冷地での使用について
本機には、低温環境下においてもカメラ本体が動作するよう、ヒーターが内蔵され、内部温度が低下すると自動的に動作します（PoE使用時を除く）。このヒーターによってレンズカバーおよび外壁に付着した雪や霜を解凍することは出来ません。設置場所を充分ご確認の上、レンズカバー前面に雪が溜まる、または吹付ける環境は避けてください。

低温環境での起動・終了について
−10℃ 以下の環境で起動すると、起動直後はカメラ本体システムが動作しないことがあります。その場合、ヒーターが動作して内部温度が上昇後にカメラ本体が起動します。正常な画像が得られるまでに 2 時間程度かかる場合があります。

別売のSNCA-CFW5ワイヤレスカード* またはCFメモリーカード の使用について**
- 別売のSNCA-CFW5ワイヤレスカード* またはCFメモリーカード** が使用できるのは、電源がAC 24VまたはDC 12Vで供給されている場合に限ります。
- カメラがPoEで電源供給されており、別売のSNCA-CFW5ワイヤレスカード* またはCFメモリーカード** を使用したい場合、まずカメラの電源を切ってから、AC 24VまたはDC 12Vの電源で再起動を行う必要があります。
- CFカードスロットカバーをカメラ本体にしっかりと取り付けてください。

*　SNCA-CFW5は一部地域では販売されておりません。詳しくはソニーの相談窓口にお問い合わせください。
**　動作確認済みのCFメモリーカードについては、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

CFカードに関して
CFカードに記録したデータは、以下の場合に破損したり、消失したりする可能性があります。データの破損や消失による損害や賠償、逸失利益については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- CFカードにアクセス中に、本機から取り出したり、本機電源を切ったりした場合
- CFカードに衝撃が加わった場合
- CFカードが製品寿命になった場合
（使用方法により、製品寿命は大幅に短くなる場合があります。）
- CFカードが正しく装着されなかった場合

お手入れについて
- レンズカバーの表面に付着したごみやほこりは、ブロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

レーザービームについてのご注意
レーザービームは撮像素子に損害を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、撮像素子表面にレーザービームが照射されないよう十分注意してください。

撮像素子特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、撮像素子特有の現象で、故障ではありません。

白点
撮像素子は非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。
これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。
また、下記の場合、白点が見えやすくなります。
- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき
- スローシャッターのとき

折り返しひずみ
細かい模様、線などを撮影すると、ギザギザやちらつきが見えることがあります。

付属の説明書について

設置説明書（本書）
この設置説明書には、カメラ本体の各部の名称や設置、接続のしかたが記載されています。操作の前に必ずお読みください。

ユーザーガイド（CD-ROMに収録）
カメラのセットアップの方法や、Webブラウザを介したコントロールの方法が記載されています。
設置説明書にしたがってカメラを正しく設置、接続したあと、ユーザーガイドをご覧になってカメラを操作してください。

CD-ROMマニュアルの使いかた

付属のCD-ROMには、本機のユーザーガイド（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語）がPDF形式で記録されています。

準備
付属のCD-ROMに収録されているガイドを使用するためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。
Adobe Reader 6.0以上

ご注意
Adobe Readerがインストールされていない場合は、次のURLからダウンロードできます。
http://www.adobe.com/

マニュアルを読むには

1　CD-ROMをディスクドライブに入れる。
表紙ページが自動的にWeb ブラウザで表示されます。
Web ブラウザで自動的に表示されないときは、CD-ROM に入っているindex.htm ファイルをダブルクリックしてください。

2　読みたいマニュアルを選択してクリックする。
マニュアルのPDFファイルが開きます。
「目次」の各項目をクリックすると、その見出しのページが表示されます。

ご注意
- Adobe Readerのバージョンによってファイルが正しく表示されないことがあります。
「準備」の項目のURLより最新のソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
- CD-ROMが破損または紛失したため、新しいCD-ROMをご希望の場合は、ソニーのサービス担当者にご依頼ください（有料）。

AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Smartphone viewer機能について

本製品には、Smartphone viewer機能が搭載されております。
この機能により、スマートフォンからネットワークカメラの映像取得およびパン・チルト・ズーム操作を行うことができます。
本機能に関する詳細は、下記URLに掲載されている「Smartphone viewerユーザーマニュアル」をご確認ください。
http://www.sony.net/ipela/snc

各部の名称と働き

前面　A

❶ **オーディオケーブル（付属）**
長いケーブルをライン出力端子（SP表示）、短いケーブルをマイク／ライン入力端子（MIC表示）として使用します。
- **SP端子（ミニジャック、モノラル）**
市販のアンプ内蔵スピーカーを接続します。
- **MIC端子（ミニジャック、モノラル）**
市販のマイクを接続します。
プラグインパワー方式（基準電圧DC 2.5 V）に対応しています。

❷ **I/O（入出力）ケーブル（付属）**
1系統のセンサー入力、2系統のアラーム出力を備えています。
各ワイヤーは次の信号に対応しています。

ワイヤーの色	名称
赤	センサー入力＋
白	センサー入力－（GND）
黒	アラーム出力1＋
黄	アラーム出力1－
茶	アラーム出力2＋
緑	アラーム出力2－

各機能や設定について詳しくは、付属のCD-ROMに収録されているユーザーガイドをご覧ください。
配線については「I/Oケーブルの接続」をご覧ください。

❸ **落下防止用ワイヤーロープ取り付けネジ穴**
付属のワイヤーロープを取り付けます。

❹ **レンズカバー**

❺ **LANケーブル（RJ-45）（付属）**
市販のネットワークケーブル（UTP、カテゴリー 5）を接続してネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX）に接続します。

❻ **電源入力ケーブル（付属）**
AC 24 VまたはDC 12 V の電源供給装置へ接続します。
ケーブル先端のコネクターチップに延長用ケーブルをネジ止めできます。

❼ **BNCケーブル（付属）**
本機からの映像をコンポジット信号として出力します。

ご注意
映像出力は画角調整用途を主な目的としており、映像方式や画像サイズの設定により制限が生じる場合があります。
－映像が縦長や横長に表示される
－映像が小さく表示される

❽ **カメラスタンド**

ご注意
屋内配線をするときに、カメラと、天井や壁の間にケーブルがはさみ込まれないようご注意ください。ケーブルがはさみ込まれると、断線による火災や感電の原因となります。

❾ **カメラ本体**

（裏面へ続く）

B

F

G

単位：mm

C

単位:mm

D

天井

ワイヤーロープ
(付属)

ネジ⊕ M4×8(付属)

本体取り付けネジ
(付属していません)4本

E

ZOOM/FOCUSスイッチをW/Tに倒した場合

W<-----+-*--->T1090

数値はズーム位置を表します。

* マークはおおよそのズーム位置を表します。

ZOOM/FOCUSスイッチをN/Fに倒した場合

N<-----+--*-->F1850

数値はフォーカス位置を表します。

* マークはおおよそのフォーカス位置を表します。

後部 B

⑩ **定格ラベル (裏側)**
本機の名称や、電気関係の定格情報が記載されています。

⑪ **CFカードスロットカバー**
CFカードスロットカバーを取り外すには、カバー上にある2本のネジを付属のレンチで取り外してからCFカードスロットカバーをカメラの後部から引き出します。 CFカードスロットカバーを元通り取り付けるとき、防水ゴムが元の位置にあることを確認して、カバーが完全に閉じているか確認してください。

ご注意
防水のために、ネジのトルクを0.4N•m ～ 0.5N•mにしてください。

⑫ **CFカードスロット**
別売のワイヤレスカードSNCA-CFW5*、またはCFメモリーカード**を装着することができます。

ご注意
CFメモリーカード** の底面をカメラのコントロールパネルに向けて挿入してください。

* SNCA-CFW5は一部地域では販売されておりません。詳しくはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

** 動作確認済みのCFメモリーカードについては、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

⑬ **CFカードレバー**
CFカードスロットに装着されたCFメモリーカード**を抜くときに使用します。

⑭ **コントロールパネルカバー**
留めネジを付属のレンチでゆるめて、矢印が示す方向にカバーを開きます。

⑮ **カメラヘッド固定ネジ**
ネジを付属のレンチでゆるめてからカメラヘッドを撮影したい方向に向け、そのあと締めて固定します。

⑯ **POWER (電源) インジケーター(緑)**
カメラに電源が供給されると、カメラ内部でシステムチェックを行います。正常の場合はこのインジケーターが点灯します。

⑰ **NETWORK(ネットワーク)インジケーター(緑／橙)**
ネットワークに接続されているときは点灯、または点滅します。ネットワークに接続されていないときは消灯しています。
100BASE-TXで接続しているときは緑、10BASE-Tで接続しているときは橙で点灯します。

⑱ **NTSC/PALインジケーター(緑/橙)**
出力モードがNTSCの場合、この緑色のインジケーターが点灯します。
出力モードがPALの場合、この橙色のインジケーターが点灯します。

⑲ **Heater(ヒーター)インジケーター(緑)**
電源が、AC 24 VまたはDC 12 Vで供給され、カメラのヒーターが正常に動作している場合、点灯します。
PoE で電源を供給する場合、ヒーターは動作しませんが、LED は点灯する場合があります。

⑳ **NTSC/PALボタン**
映像出力方式を切り換えます。

㉑ **MONITOR(モニター)出力端子**
ビデオモニターの映像入力端子と接続します。カメラおよびレンズの調整を行うとき、本機で撮っている画像をビデオモニター画面上で見ることができます。調整が終わったら、ケーブルをはずしてください。防水のため、キャップをきちんと閉めてください。

ご注意
直径11.8 mm以下のプラグを使ってください。

㉒ **Zoom(ズーム)ボタン**
2個のボタンを使用して、レンズのズーム調整をします。
[W] WIDE(ワイド):ズームアウトをします。
[T] TELE(テレ):ズームインをします。

㉓ **Focus(フォーカス)ボタン**
2個のボタンを使用して、レンズのフォーカス調整をします。
[N] NEAR(ニア):近くのものにフォーカス(焦点)を合わせます。
[F] FAR(ファー):遠くのものにフォーカスを合わせます。
カメラを工場出荷時の設定にリセットするには、これら 2 つのボタンを同時に押して、カメラに電源を供給します。

㉔ **Easy Focus(イージーフォーカス)ボタン**
ボタンを押すと自動的にピントを簡単に合わせることができます。

設置

⚠警告

- 壁や天井など高所へ設置する際は、専門の工事業者に依頼してください。
- 高所への設置は、設置部および使用する取り付け部材(付属品を除く)が15 kg以上の重量に充分耐えられる強度があることをお確かめの上、確実に取り付けてください。充分な強度がないと落下して大けがの原因となります。
- 落下事故防止のため、付属のワイヤーロープを必ず取り付けてください。
- 高所へ設置した場合は、1年に一度は取り付けがゆるんでいないことを点検してください。また、使用状況に応じて点検の間隔を短くしてください。

カメラの取り付け位置を決める C

カメラの撮影方向を決めてから、付属のテンプレートを使って配線用の穴(ø40 mm)をあけ、カメラスタンド取り付け用穴(4か所)の位置を決めます。

取り付けネジについて

カメラスタンドには、ø4.5 mmの取り付け穴が4か所あいています。4か所を使ってカメラスタンドを天井や壁にネジ止めします。設置する場所や材質により、使用するネジ類が異なります。(ネジは付属していません。)
鋼材の場合: M4ネジとナットで固定してください。
木材の場合: タッピンネジ(呼び径4)で固定してください。板厚は15 mm以上必要です。
コンクリート壁の場合: ドライビット、またはプラグボルトで固定してください。
ジャンクションボックスの場合: ジャンクションボックスのネジ穴に合ったネジで固定してください。

⚠警告

設置する場所や材質により、適切な取り付けネジを使用してください。適切な取り付けネジを使用しないと落下して大けがの原因になります。

カメラを取り付ける D

1. **取り付け面にあるケーブル用穴に信号ケーブルをすべて通す。**
2. **付属のワイヤーロープをカメラと天井、または壁に取り付ける。**
   ① 付属のネジ⊕ M4×8で、カメラスタンドのワイヤーロープ取り付け穴にワイヤーロープを固定する。
   ② ワイヤーロープを天井または壁に取り付ける。
3. **天井または壁にカメラを取り付ける。**
   4本のネジを、カメラスタンドにあるネジ穴に差し込み、ネジを締めてカメラを取り付けます。
   壁にカメラを取り付ける場合、カメラスタンドにあるTOP(上部)というマークが上になっているか確認してください。
   使用するネジについては、「取り付けネジについて」をご覧ください。

ご注意
天井設置などカメラスタンドを上向きに取り付ける場合、スタンドの上から水が入らないように防水施工してください。

撮影方向と撮影範囲の調整 E

1. **カメラヘッド固定ネジを付属のレンチでゆるめる。**
2. **カメラを調整して、撮影したい方向にレンズを向ける。**
3. **カメラヘッド固定ネジを付属のレンチで締めてカメラを固定する。**
4. **留めネジを付属のレンチでゆるめて、コントロールパネルカバーを開ける。**
5. **Zoom(ズーム)ボタンでズーム調整を行う。**
   モニター画面にズームインジケーターが表示されます。
6. **Easy Focusボタンを押して自動でピントを合わせる。**
7. **コントロールパネルカバーを閉じて、留めネジを付属のレンチで締める。**
8. **希望の撮影範囲とフォーカスが決まるまで、手順1 ～ 5を繰り返す。**

ご注意

- カメラヘッド固定ネジをゆるめずにカメラヘッドの向きを調整すると、内部の部品が変形することがあります。
- カメラヘッドの動きが重く調整しにくい場合は、スムーズに動くまでカメラヘッド固定ネジをゆるめてください。
- 撮影状況によってEasy Focusボタンでピントが合わないときは、Focusボタンを使用して手動でピントを合わせてください。モニター画面にフォーカスインジケーターが表示されます。

接続

ネットワークへの接続 F

市販のネットワークケーブル(ストレートケーブル)を使って、本機のLANケーブルとネットワークのルーターまたはハブを接続します。

コンピューターへ接続するには

市販のネットワークケーブル(クロスケーブル)を使って、本機のLANケーブルとコンピューターのネットワークコネクターを接続します。

電源の接続

本機は、次の3通りの方法で電源を接続できます。

- DC 12 V
- AC 24 V
- IEEE802.3af準拠の電源供給装置(PoE*方式)

* PoE: Power over Ethernet の略です。

ご注意
電源入力ケーブルとLANケーブルの両方から電源が供給された場合、LANケーブルからの電源が優先されます。

DC 12 VまたはAC 24 V電源への接続 F

本機の電源入力ケーブルをDC 12 VまたはAC 24 Vの電源供給装置へ接続します。

- DC 12 VまたはAC 24 Vは、AC 100 Vに対して絶縁された電源を使用してください。それぞれの電源の使用電圧範囲は次の通りです。
  DC 12 V:10.8 V ～ 13.2 V
  AC 24 V:21.6 V ～ 26.4 V
- DC 12 VまたはAC 24 Vの配線には、ULケーブル(VW-1 style 10368)を使用してください。

推奨電源ケーブル

DC 12 Vの場合

ケーブル(AWG)	#24	#22	#20
最大ケーブル長(m)	3	5	8

AC 24 Vの場合

ケーブル(AWG)	#24	#22	#20
最大ケーブル長(m)	12	21	30

IEEE802.3af準拠の電源供給装置への接続

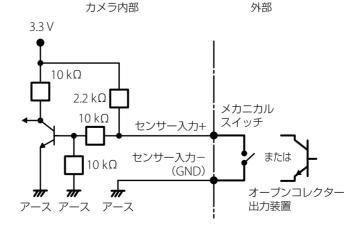
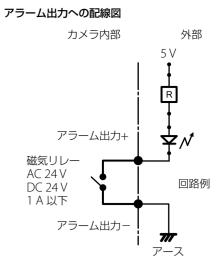
IEEE802.3af準拠の電源供給装置はLANケーブルを通して電源を供給します。詳しくは電源供給装置の取扱説明書をご覧ください。

I/Oケーブルの接続

I/Oケーブルの各ワイヤーは、次のように配線してください。

センサー入力への配線図

メカニカルスイッチ/オープンコレクター出力装置

アラーム出力への配線図

主な仕様

圧縮方式

映像圧縮方式　JPEG/MPEG4/H.264
音声圧縮方式　G.711/G.726(40, 32, 24, 16 kbps)
最大フレームレート
　SNC-CH180:
　　H.264:30 fps(1280 × 720)
　SNC-CH280:
　　H.264:30 fps(1920 × 1080)

カメラ

赤外線LED　27 pcs
赤外線照射距離　SNC-CH180:30 m(50 IRE)
　SNC-CH280:30 m(50 IRE)
信号方式　NTSCカラー／ PALカラー切り換え方式
撮像素子　SNC-CH180:
　　1/3型CMOS(Exmor)
　　　有効画素数:約139万画素
　SNC-CH280:
　　1/2.8型CMOS(Exmor)
　　　有効画素数:約327万画素
同期方式　内部同期
水平解像度　600 TV本(アナログビデオ)
映像S/N　50 dB以上(AGC 0 dB時)
最低被写体照度
　SNC-CH180:
　　F1.2 ／ View-DR オフ／ VE オフ／ AGC 高／ XDNR 中／ 50 IRE(IP)
　　　カラー:0.22 lx
　　　白黒:0 lx(IR オン)
　SNC-CH280:
　　F1.2 ／ View-DR オフ／ VE オフ／ AGC 高／ XDNR中／ 50 IRE(IP)
　　　カラー:0.40 lx
　　　白黒:0 lx(IR オン)

レンズ

焦点距離　3.1 mm ～ 8.9 mm
最大口径比　F1.2 ～ F2.1
画角　SNC-CH180:
　　1280 × 1024のとき
　　垂直:67.4° ～ 25.0°
　　水平:85.4° ～ 31.2°
　SNC-CH280:
　　1920 × 1440のとき
　　垂直:65.2° ～ 24.2°
　　水平:88.5° ～ 32.3°
最至近撮影距離300 mm

インターフェース

LANポート　10BASE-T/100BASE-TX、オートネゴシエーション(RJ-45)
I/Oポート　センサー入力:×1、MAKE接点、BREAK接点
　アラーム出力:×2(最大AC/DC 24 V、1 A)
　(メカニカルリレー出力、本体とは電気的に絶縁)
映像出力端子　VIDEO OUT(BNC型)
　1.0 V p-p、75 Ω不平衡、同期負極性
マイク入力*　ミニジャック(モノラル)
　プラグインパワー方式対応(基準電圧2.5 VDC)
　推奨負荷インピーダンス2.2 kΩ
ライン入力*　ミニジャック(モノラル)

* マイク入力とライン入力はメニューによる切り換え

ライン出力　ミニジャック(モノラル)、最大出力レベル:1 Vrms

その他

電源電圧　DC 12 V ±10%
　AC 24 V ±10% 50 Hz/60 Hz
　IEEE802.3af準拠(PoE方式)
消費電力　SNC-CH180:最大30 W
　SNC-CH280:最大33 W
使用温度(AC 24 V ／ DC 12 V)
　電源投入時:−20℃ ～ +50℃
　通電動作時:−30℃ ～ +50℃
使用温度(IEEE802.3af(PoE方式))
　電源投入時:0℃ ～ 50℃
　通電動作時:−10℃ ～ +50℃
ヒーター動作　24V AC, 12V DC, 24V、(24V AC+PoE),および(12V DC+PoE)電源供給時のみ
　(IEEE802.3af(PoE方式):カメラ動作電源供給のみ)
CFカード動作　24V AC, 12V DC, 24V、(24V AC+PoE),および(12V DC+PoE)電源供給時のみ
　(IEEE802.3af(PoE方式):カメラ動作電源供給のみ)
保存温度　−20℃ ～ +60℃
動作湿度　20% ～ 80%(結露無きこと)
保存湿度　20% ～ 95%
外形寸法(カメラ本体) G
　ø93 mm × 186 mm(突起部含まず)
質量　約1.9 kg
付属品　CD-ROM(ユーザーガイド、付属プログラム)(1)、テンプレート(1)、ワイヤーロープ(1)、ネジ⊕ M4×8(1)、レンチ(1)、設置説明書(本書)(一式)

別売アクセサリー

ワイヤレスカード SNCA-CFW5*

* SNCA-CFW5は一部地域では販売されておりません。詳しくはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

定期点検のお願い
本機を長期間ご使用になる場合は、安全にお使いいただくため、定期点検をお願いします。
外観上は異常がなくても、使用頻度によって部品が劣化している可能性があり、故障したり事故につながることがあります。
◆ 詳しくはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

補修用部品の保有年数
補修用性能部品は製造打ち切り後、7年間保有します。